

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(5年生)

- ・実習や裁縫など体験活動への意欲関心が高く、手順などを意識して安全に気を付けながら取り組むことができた。
- ・裁縫では様々な縫い方を習得したことで、フェルト布から作りたいものを考え、縫い方を工夫して行う様子が見られた。

(6年生)

- ・グループごとに考えて調理実習を行うことで、知識を実践に生かすことができた。
- ・タブレットを活用し、生活時間をマネジメントしたり、掃除のしかたについて学んだりすることで、自他と比較したり、幅広く知識を得たりすることができた。

(2) 課題

- ・学習して身に付けたことを実際の生活に生かして取り組めるようにすることが課題である。
- ・調理については、家庭での経験に差が大きく、実習グループを組んだ際に実技に差が出る。
- ・裁縫などの製作の際の細かい作業やミシンの使い方においては、知識・技能に、個人差がある。
- ・実習では興味をもって取り組むが、よりよい生活をしようと工夫する姿勢に欠ける。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎製作や調理などの実習において安全で正しいやり方を習得できるように、手順を掲示するなど視覚的な配慮を行う。 ・今まで得た知識を製作や調理の学習で実践することで経験を積めるよう、タブレットを活用する。 ・学習したことを生かして生活をよりよくできるように、学習した内容を振り返る時間を設ける。	・今まで学習したことを生かして考えられるように、既習内容を振り返ったり、活用例を紹介したりする。 ・生活に役立てられたことや友達の実践について、タブレットを活用して共有することで、自分や家族のためによりよい生活を送るための取組をさらに考えられるようにする。	・学習して身に付けたことを生活や他の学習とも関連付けて取り組めるよう、カリキュラムマネジメントを行う。 ・ワークシートやチェックカード、タブレットなどを活用して自分の取組を振り返り、家庭で実践しようとする態度を身に付ける。